

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和6年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
五泉市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえ、今後の経営改革の方向性

当市では単独処理施設は有しておらず、流域下水道の幹線管渠に接続しているため、現行体制を継続していく。経営は、一般会計からの繰入金により収支均衡を図っている。抜本的な改革の取り組みについては、検討の前段階である。

なお、人口減少や節水意識の高まりにより下水道使用料収入の減少傾向が見込まれるが、未接続世帯への訪問などを行い、下水道接続率の向上を図り、使用料収入の確保に努める。

また、下水道施設の将来的な老朽化や社会情勢を踏まえ、計画的な管渠更新や経営戦略の改定を行い、持続可能な経営に取り組むこととしている。